

新たな広域連携事業として技術職・技能職の魅力啓発冊子「STYLES」を作成しました ～市立中学校の新2年生全員に魅力を啓発～

千葉市では、雇用のミスマッチ解消を目的として、茂原市、市原市、四街道市と連携し、4市内の企業や事業所で働く技術職・技能職の若手人材を取材した冊子「*STYLES*」を作成しましたので、お知らせします。

1 事業目的

本市では、一般求職者が事務職に偏り、技術職・技能職（以下、技術職等）の人材不足が著しい、いわゆる「雇用のミスマッチ」解消に向けた中長期的対応として、生徒・学生等の技術職等に対する理解を深める事業を実施している。

本事業は、市立中学校に通学する中学生を対象として、技術職等の魅力を掲載した啓発冊子による情報提供を行うことで、技術職等を将来の就労先の選択肢の一つとして認識するきっかけづくりを目的としている。

なお、本市では本事業を平成30年度から実施しているが、今年度から、隣接3市を加えた広域連携事業の一環として、新たに4市連携で作成した。

2 冊子の概要

(1) 編集方針

ア 学校現場での活用

インタビュー記事だけでなく、職場体験の事前・事後学習等における活用を視野に置き、冊子の活用方法も記載。

イ 専門家の協力

キャリア教育を専門とする千葉大学教育学部の藤川大祐教授^{ふじかわだいすけ}に全体の監修をお願いするとともに、インタビュー取材を行い中学生へのメッセージを掲載。

ウ 取材対象

中学生が近い未来の自分自身として身近に感じられるよう、若手人材（概ね20歳代）を取材対象とした。

(2) 構成（全64ページ）

ア 導入【P2～3】

「技術で壁を突破しよう！」という見出しとともに、日本のIT競争力や授業におけるデジタル機器活用等における課題を示し、なぜ今技術・技能職を取り上げるのかについて説明。

イ 活用法【P4～5】

インタビューページの構成を示し、各項目の見方やポイントを解説。

ウ インタビュー【P6～57】 ※4ページ/人

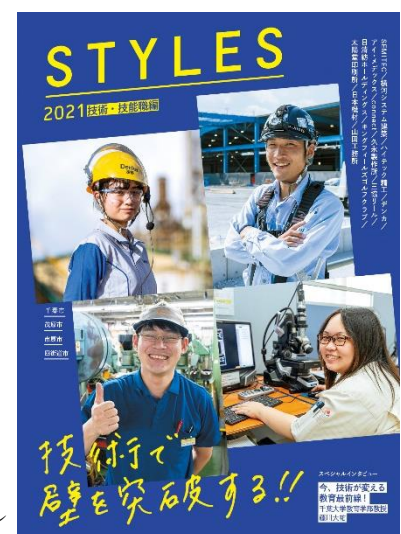
4市内の企業・事業所で技術職等として働く若手人材13名を取材し、仕事内容、やりがい、一日の生活サイクル、職に就くために歩んできたキャリアなどを掲載。

エ スペシャルインタビュー【P58～61】

千葉大学教育学部の藤川大祐教授に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学校教育について、今後のIT技術などを活用した教育の展望などを取材。また、オンライン教育の事例も紹介。

オ 7つの進路【P62～63】

技術職等に就くための代表的な進路に関する7つの教育機関を掲載。



「STYLES」表紙

(3) 取材対象企業【担当業務内容】

1	SEMITEC【センサ開発】	千葉市
2	ハイテック精工【自動化システム設計】	
3	アイ・メデックス【医療機器製造管理者】	
4	connect【システム開発】	
5	三協リール【リール設計】	
6	日清紡ホールディングス【燃料電池研究開発】	
7	太陽堂印刷所【印刷オペレーター】	
8	山田工務所【施工管理】	
9	横河システム建築【建築現場管理者】	茂原市
10	日本機材【金属部品製造】	
11	デンカ【エネルギー管理】	市原市
12	キングフィールズゴルフクラブ【コース管理】	
13	久永製作所【ボタン・ホック製造】	四街道市

3 事業実施スケジュール

令和2年	6月	プロポーザル（企画提案）方式にて業者決定、委託契約締結 【委託先】株式会社オフィスサンマルサン
	7月～	冊子作成（取材先選定、取材、記事作成、冊子デザイン等）
令和3年	3月	納品
	4月以降	各学校を通じて4市内中学校の新2年生（約13,000名）へ配布 ※職場体験前など、各学校に応じて適した時期に配布

<参考>

「STYLES」イメージ



導入「技術で壁を突破しよう！」



若手人材インタビュー①



若手人材インタビュー②



STYLES 活用法



藤川教授インタビュー



技術職等につながる7つの進路